
片思い

弥生

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

片思い

【Nコード】

N1357B

【作者名】

弥生

【あらすじ】

春華は翔太のことが好きだけど、翔太は春華をからかってくる――そして春華は翔太に告白することを決意した――。

翔太、あたしは翔太が好きなんだよ。
なのに・・・なんでからかってくるの？

『春華、おまえ亮のこと好きなんだろ。』とか、

『文哉がお前のこと好きだって』とか。

あたしは友達はみんな好きなんだよ。

けど翔太は特別なんだ。

そういわれるたび、

あたしは胸の奥がチクチク痛かった・・・

あたしは2年生、翔太は3年生。

あたしは勇気が欠けてる。

翔太に告白する勇気がない。

翔太はとても大きくて、勉強もできて・・・

憧れの人だったけど、いつから変わってしまったんだろう。

この気持ちに気づいたのは1年の冬。

部活をしている翔太、

勉強をしている翔太、

話してるときの翔太・・・

全てがキラキラしてるように見えた。

それからだ。

『もう、翔太がいなくなってしまう。
そう思うと悲しかった・・・。』

あたしは決めた！

『翔太に文化祭の日告白する』

断られてもいい。

気持ちを伝えなかったら、あたしの中でモヤモヤが
どんどん増えていってしまうから・・・

文化祭の日『春華、一緒に見てまわろうよ。』

っていう友達の誘いも、

「用事があるから。」って断った。

翔太を呼びに行こうと決めていたから・・・

「翔太一緒に見てまわろうよ。」

言えた。あたしにも勇氣はあったんだ。初めて知った。

翔太はOKしてくれた。

うれしかった。翔太は結構もてる。

他の女子からお誘いもあったはずなのに。

あたしは誰もいない教室に行った、もちろん翔太と一緒に。

「あたしは翔太が好き」

言ったとき、翔太は微笑んでた。やさしい微笑だった。

言ってしまうと緊張が解けて、あたしは泣きだしそうだった。

翔太はあたしを自分の方へ寄せてつぶやいた――

『俺もだよ』

＋＊☆あとがき☆＊＋

弥生です。

短編初挑戦ですが、どうでしたか？
感想お願いします！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1357b/>

片思い

2011年1月19日03時01分発行